

臨床医の方々へ

「Autopsy imaging による人体機能並びに死因に繋がる病因・病態の包括的解析」へのご協力をお願い

死因究明に死亡時画像診断（Autopsy imaging）が用いられるようになり、死因究明における死亡時画像診断の活用に関して、厚生労働省から、検討会の報告書が公表されました（資料 1-2）。しかし、Ai はまだ万人に受け入れられ確立された診断方法ではなく、報告書内でも、「死後画像の撮影・読影技術の向上のためには、死後画像の読影結果と解剖結果を比較検証することが重要であると考えられることから、解剖との比較検証は継続的に行うべきである。」と言及しています。そこで放射線科、病理学講座（分子病理学、腫瘍病理学）、法医学講座、解剖学講座は、上記研究を計画いたしました。本研究にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

本研究の概要は、当福井大学附属病院において、病理解剖を承諾していただいた症例に関して、死後 CT 画像を（場合により MR 画像も）撮影し、病理解剖結果と対比させ、死後画像の有用性について検討します。また、ご遺族への解剖結果の説明において死後画像を活用できるか、検討を加えます。なお、本研究は、文部科学省への概算要求「統合的先進イメージングシステムによる革新的医学教育の展開」の成果を基盤として行うものです。

具体的には、病理解剖をご承諾いただき、本研究に参加していただけることを許可していただいた症例が対象です。死後画像のない病理解剖も、通常通り実施します。

実施期間：平成 22 年（2010 年）9 月 1 日（福井大学医学部倫理審査委員会承認日）～平成 28(2016 年)年 3 月 31 日

場所：死後画像の撮影は、放射線科が撮影します（別紙、撮影手順について参照）。病理解剖は通常どおり剖検室で行います。

費用：本研究は、科学研究費補助金などの各種研究費により支出されます。ご遺族、主治医の方にご費用でご負担をおかけすることはありません。また、謝礼はありません。